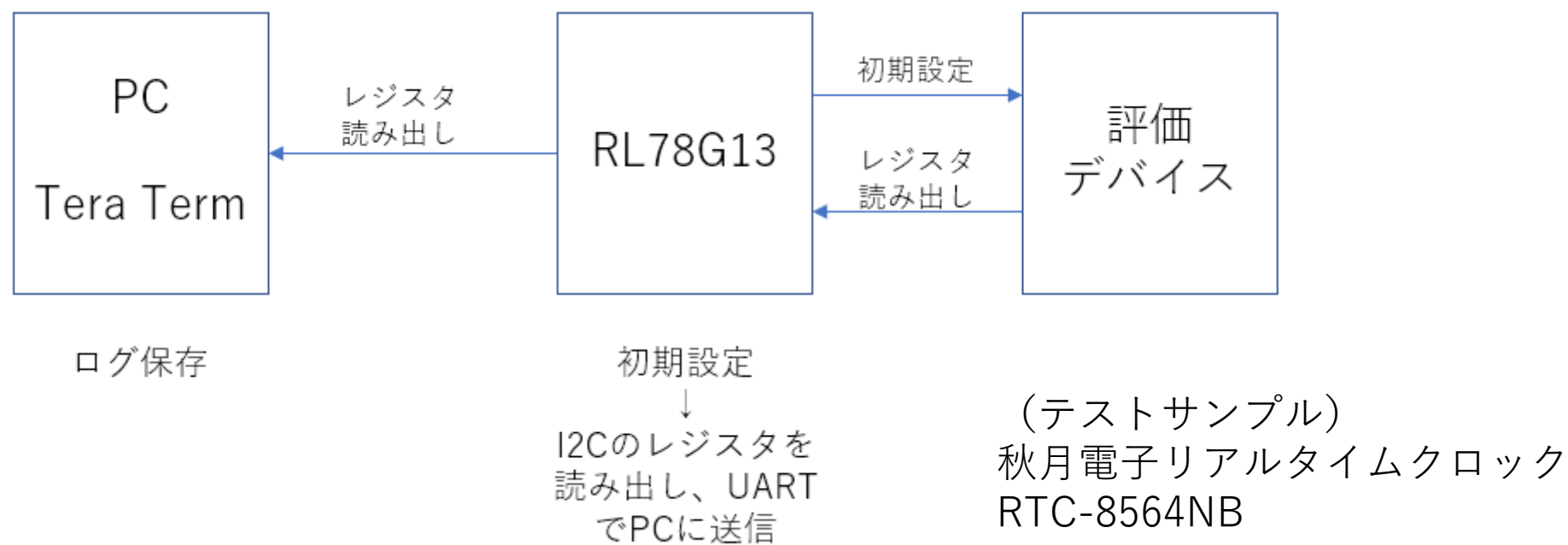


1. 構成

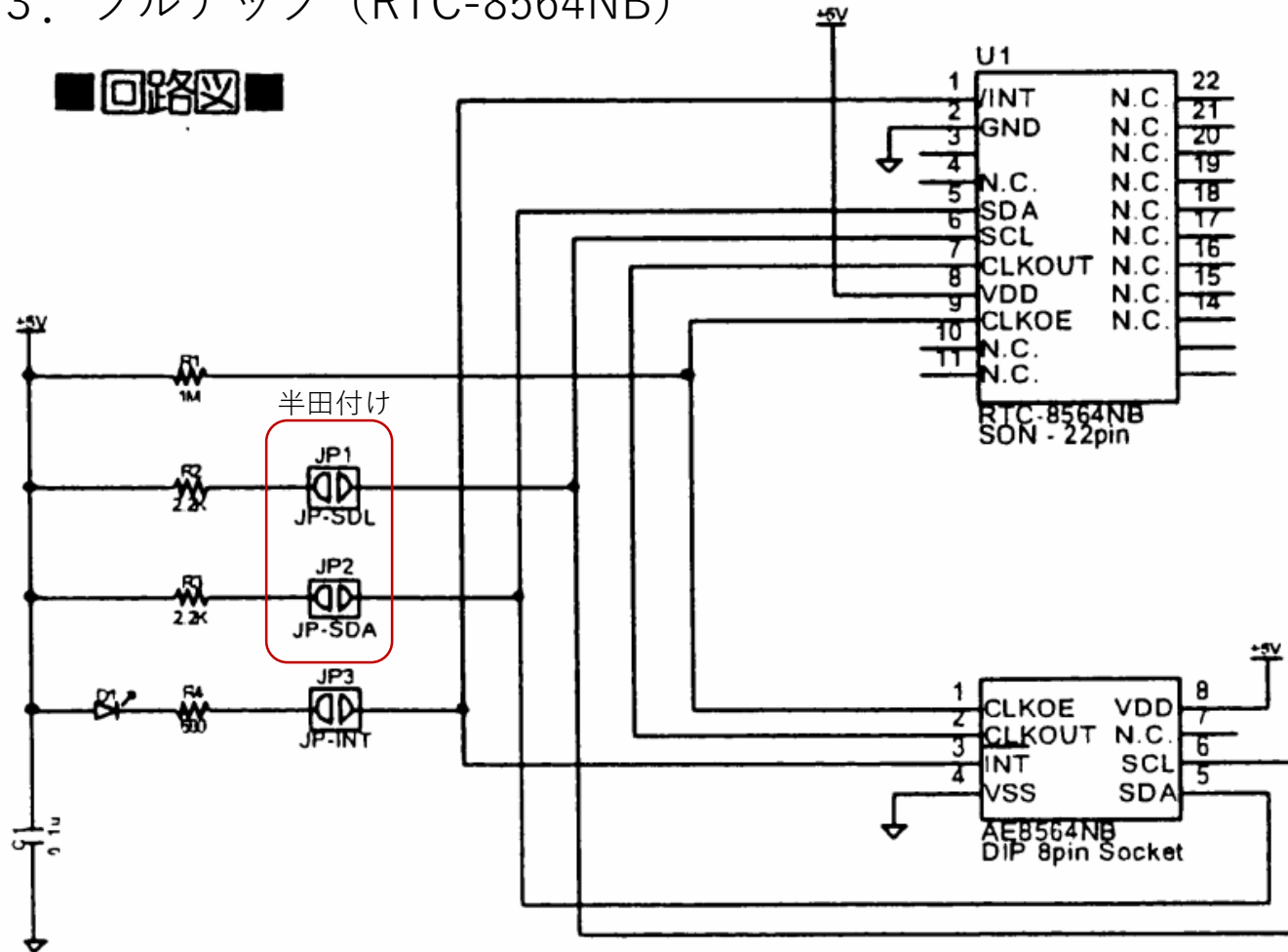


RL78G13基板：YRPBRL78G13

2. HW構成



3. プルアップ (RTC-8564NB)



4. レジスタ構成

データシート：RTC-8564NB-APPLICATION.xps (akizukidenshi.com)

RTC - 8564 JE / NB

EPSON TOYOCOM

12.2. レジスタテーブル SLAVE ADRS = 1010001* * = R/W

Address [h]	Function	bit 7	bit 6	bit 5	bit 4	bit 3	bit 2	bit 1	bit 0	note
00	Control 1	TEST	0	STOP	0	TEST	0	0	0	*3, *4
01	Control 2	0	×	0	TI / TP	AF	TF	AIE	TIE	*4, *5
02	Seconds	VL	40	20	10	8	4	2	1	*1
03	Minutes	×	40	20	10	8	4	2	1	*5
04	Hours	×	×	20	10	8	4	2	1	*5
05	Days	×	×	20	10	8	4	2	1	*5
06	Weekdays	×	×	×	×	×	4	2	1	*5
07	Months / Century	C	×	×	10	8	4	2	1	*5
08	Years	80	40	20	10	8	4	2	1	
09	Minute Alarm	AE	40	20	10	8	4	2	1	
0A	Hour Alarm	AE	×	20	10	8	4	2	1	*5
0B	Day Alarm	AE	×	20	10	8	4	2	1	*5
0C	Weekday Alarm	AE	×	×	×	×	4	2	1	*5
0D	CLKOUT frequency	FE	×	×	×	×	×	FD1	FD0	*2, *5
0E	Timer control	TE	×	×	×	×	×	TD1	TD0	*5
0F	Timer	128	64	32	16	8	4	2	1	

注) 0V からの初期電源投入時 および VL ビット読み出し時の結果が VL = "1" のときは、必ず 全てのレジスタを初期設定してから 使用してください。
そのさい、日付・時間として正しくないデータの設定はしないでください。 その場合の計時動作は 保証できません。

- *1. 0V からの初期電源投入時には、パワーオンリセット機能によって、VL ビットは "1" にセットされます。
* このときの他のレジスタの値は不定ですので、必ず初期設定を実施してから使用してください。
- *2. 0V からの初期電源投入時には、パワーオンリセット機能によって、FE ビットは "1" にセットされ、また、FD1, FD0 ビットは "0" にリセットされます。
* このとき CLKOE 入力端子 = "H" であれば、CLKOUT 出力端子から 32.768 kHz が出力されます。
- *3. アドレス 00 (Control 1) の 2 つの TEST ビットは 弊社テスト用ビットです。
初期設定にて 必ず "0" を書き込んでから使用してください。 また以後も、書き込み時は 必ず "0" を設定してください。
* "1" にセットされた場合は、デバイスのいかなる動作も保証できません。
- *4. '0' マークは、初期設定以降 "0" にて ご使用ください。
- *5. 'x' マークは、書き込み不可能で また 読み出し値は不定です。 読み出し後は マスク処理をしてください。

5. 製作したいプログラム

スタート

スレーブアドレス 0x51、
アドレス 0x00 ~ 0x00 を書き込み

0x02 ~ 0x05 を読み出し

0x02 ~ 0x05 を UART へ出力

(UART 送信終了)